

岡山県西粟倉村小水力発電事業への出資決定について

一般社団法人グリーンファイナンス推進機構（代表理事：末吉竹二郎、以下機構）は、西粟倉村（所在地：岡山県英田郡西粟倉村 村長：青木秀樹）が計画する小水力発電事業（以下、本プロジェクト）に、90 百万円の出資を決定致しましたのでお知らせします。

本プロジェクトは、地方自治体の西粟倉村が、メインスポンサーとなり、株式会社（SPC）を設立し、村を縦断する吉野川の豊富な水資源を活用するかたちで、既存の村営小水力発電所の上流域において、新たに民間型の小水力発電事業を行うものです。

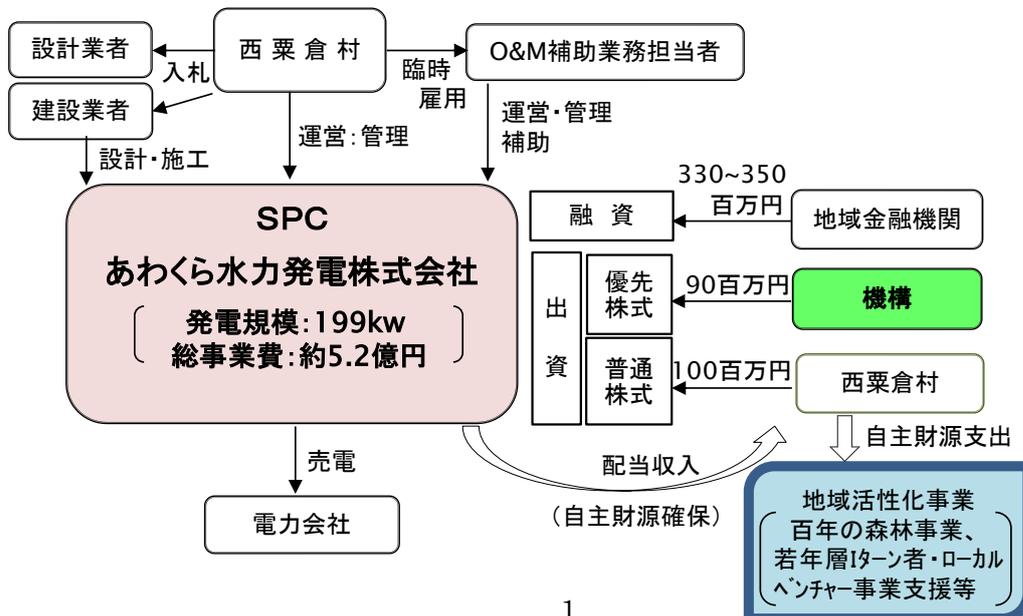
事業地の西粟倉村は、岡山県の最東北端に位置し、人口減少と高齢化が進んできた人口約 1,500 人の地方自治体ですが、地域資源を最大限に活用し低炭素化と持続的発展を両立する地域モデルの実現を先導する「環境モデル都市」の一つとして国からの選定を受けており、本プロジェクトはその一環として取り組むものです。本件の実現により、既存の村営水力発電所と合わせて、西粟倉村内の全消費電力の 4 割強が水力発電で賄われる計算となります。

また、西粟倉村は、地域の持続性確保に向けて、村域の 95%を占める山林資源の活用・保全を軸に、林業の再生と I ターン者によるローカルベンチャー事業の育成などの地域活性化事業に対し積極的に取り組んできている中で、本プロジェクトの配当収入を自主財源として地域活性化事業に充てる計画となっており、本プロジェクトは地域課題の解消に寄与する案件となります。

本プロジェクトは、地方自治体がメインスポンサーの民間型の事業に出資するものとして、機構にとって初めてとなるプロジェクトであり、他の地方自治体において地域活性化策として同様の民間型事業を展開していく上で、一つのモデルとなり得るものとなっています。

機構は、地域との連携により地域活性化が見込まれること、本事業への出資が民間資金の呼び水となることに鑑み、出資決定致しました。

1. スキーム概要



(説明)

- ① 西栗倉村は、本プロジェクトの専門の事業会社として設立する「あわくら水力発電所株式会社」に 100 百万円出資し、機構は 90 百万円出資します。融資は地域金融機関からの調達を予定しています。
- ② 西栗倉村は、50 年以上に亘る水力発電所の運営・管理経験と発電設備リプレースの知見を活用して、設計・施工業者の選定、建設中の工程管理、稼働後の運営・管理を主体となって行います。運営・管理業務の一部は、地元雇用により実施します。

2. 出資意義

機構は、主に以下の点を評価し、本件への出資を決定致しました。

- ① 西栗倉村が環境モデル都市事業の一環として実施するプロジェクトを支援するものであり、地域の豊富な水資源の活用、地域雇用の創出、地方自治体の自主財源の確保と地域活性化事業資金への充当など、地域課題の解消に寄与し得る高い地域活性化効果が期待されること。
- ② 人口減少と高齢化に直面した地方自治体がメインスポンサーとなる民間型発電事業の先駆けとなる案件であり、他の地方自治体の地域活性化策としての横展開が期待されること。
- ③ 二酸化炭素の排出の抑制・削減に寄与すること（本事業による CO2 削減効果は 860t-CO2/年を想定しています）。

お問い合わせ先

一般社団法人グリーンファイナンス推進機構 事業部

電話：03-6257-3863・3864 ホームページ：<http://greenfinance.jp/index.html>
